

令和7年度
北名古屋市国際交流協会
通常総会議案書

□日 時 令和7年4月12日（土）
午前11時～

□場 所 北名古屋市コミュニティセンター
ホール（3階）

第 次

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び収支決算について

第 2 号議案 令和 7 年度事業計画及び収支予算について

4 閉 会

令和6年度事業報告

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

概況

当協会の令和6年度の各種事業は、会員各位のご支援と関係機関等のご協力及び事業を支えるボランティアの皆様の献身的な活動により、所期の目的を達成することが出来ました。

また、協会は平成19年10月に設立され、17年間、様々な活動を行ってきましたが、昨年11月に、国際交流及び多文化共生の分野での功績を認められ、愛知県知事及び公益財団法人愛知県国際交流協会会長から、それぞれ顕彰されました。

主な事業の実施状況は次のとおりです。

1 国際交流の場づくり

愛知県は毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、普及啓発活動を行っています。北名古屋市においても、多文化共生の形成による豊かで活力ある地域づくりを推進するため、多文化共生の基本理念の普及啓発活動を行いました。

また、子どもの国際感覚の涵養を図るため、名古屋芸術大学の協力を得て、留学生と一緒に、美術と音楽の分野で、芸術教室を開催しました。

2 国際交流の担い手となる人づくり

多文化理解の基礎となる外国語学習の機会を提供するため、韓国語2コース、中国語1コース、英会話2コースの5コースの語学講座を開講し、特に、英会話は平日の午前に初級講座を新たに開講しました。

協会事業のエンジンであるボランティア関係では、情報共有の会議、スキルアップ研修などを行いました。

3 国際交流を活用した地域づくり

多文化共生の理解を深めるため、イベント、講座等を6回のシリーズで開催しました。

SDGsの普及・啓発を図るため、「多文化共生イベント」、「きっずタウン北なごや」のイベントにおいて、パネル展示、ワークショップを行いました。

4 国際交流を活用した広報拠点づくり

協会活動の広報のため、会報の発行、ホームページ、フェイスブックの活用により、効果的なPRに努めました。

また、外国人のための相談体制を整備し、様々な問題解決に努めました。

I 組織の状況

令和7年3月31日現在

1 会員数

種 別	令和6年度末	令和5年度末	増減数
個人	1 6 0	1 4 1	+ 1 9
法人・団体	4 3	2 9	+ 1 4

2 ボランティア登録数

種 別	令和6年度末	令和5年度末	増減数
日本語教室	9 2	8 9	+ 3
イベント	4 2	4 2	+ 0
通訳・翻訳	5 0	5 1	- 1
生活相談	1 4	1 4	+ 0
運営企画会議	3 0	3 0	+ 0
計	2 2 8	2 2 6	+ 2

3 役員名簿

(五十音順、敬称略)

役 職	氏 名	所属名等
名誉会長	太田 考則	北名古屋市長
顧問	福岡 康	北名古屋市議会議長

役 職	氏 名	所属名等
理事	伊藤 慶子	
理事（副会長）	木島 偉博	北名古屋市商工会
理事	さいとう 裕美	北名古屋市議会
理事	竹内 創	名古屋芸術大学
理事	丹羽 幸雄	
理事	森 新治	JA西春日井
理事（会長）	横手 政孝	
理事	米田 環	
理事	渡邊 幸子	
監事	大口 泰史	
監事	松田 弘一	

II 各種会議の開催状況

1 総会

開催日時	令和6年4月13日（土） 午前11時～11時50分
開催場所	北名古屋市コミュニティセンター ホール
議決権数	170名・法人団体（個人会員141 法人団体会員29）
出席の議決権数	139名・法人団体（本人出席35 委任状提出104）
議決事項	
第1号議案	令和5年度事業報告及び収支決算について
第2号議案	令和5年度地域日本語教育推進事業報告及び収支決算について
第3号議案	令和6年度事業計画及び収支予算について
第4号議案	役員選任について

2 理事会

(1)第1回理事会

開催日時	令和6年4月9日（火） 午後2時～2時50分
開催場所	北名古屋市役所西庁舎 403会議室
出席者数	理事7名 監事2名
議決事項	
第1号議案	令和6年度北名古屋市国際交流協会通常総会議案について

(2)第2回理事会

開催日時	令和6年10月17日（木） 午後2時～2時55分
開催場所	北名古屋市役所西庁舎 大会議室
出席者数	理事7名 監事2名
報告事項等	

- ①令和6年度事業実施状況（上半期）について
- ②多文化共生イベントについて
- ③今後の理事会等の日程について など

(3)第3回理事会

開催日時	令和7年3月18日（火） 午後2時～3時10分
開催場所	北名古屋市役所西庁舎403会議室
出席者数	理事7名 監事2名
審議事項等	

- ①令和6年度事業報告及び収支決算見込みについて
- ②令和7年度事業計画及び収支予算について など

3 会計監査

(1)第1回会計監査 (令和5年度分)

開催日時	令和6年4月5日(金) 午後1時30分～2時30分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	監事2名
監査事項	令和5年度事業報告及び収支決算について

(2)第2回会計監査 (令和6年度上半期分)

開催日時	令和6年10月10日(木) 午後2時～午後3時30分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	監事2名
監査事項	令和6年度事業実施状況報告(上半期)について

4 ボランティア・リーダー会議 (各種事業の実施詳細等の協議)

(1)第1回会議

開催日時	令和6年5月15日(水) 午後1時30分～3時00分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	リーダー等7名
協議事項	①多文化理解講座 ②ボランティア交流サロン ③愛知万博20周年記念事業 ④多文化共生イベント

(2)第2回会議

開催日時	令和6年7月10日(水) 午後1時30分～3時00分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	リーダー等6名
協議事項	①第1四半期の事業実施状況 ②多文化理解講座 ③多文化共生イベント

(3)第3回会議

開催日時	令和6年9月11日(水) 午後1時30分～4時00分
開催場所	名古屋芸術大学アーツクエア 小ホール
出席者数	リーダー等7名
協議事項	①多文化理解講座 ②ボランティア交流サロン ③多文化共生イベント ④映画試写

(4)第4回会議

開催日時	令和6年11月6日(水) 午後1時30分～3時00分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	リーダー等7名
協議事項	①多文化理解講座 ②多文化共生イベント

(5)第5回会議

開催日時	令和7年1月15日(水) 午後1時30分～3時
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	リーダー等7名
協議事項	①きっずタウン北なごやへの出店内容 ②ウォーキングフットボール 実施方法 ③外国人児童生徒のための日本語活動等スキルアップ研修 ④令和7年度多文化共生推進プログラム

(6)第6回会議

開催日時	令和7年3月5日(水) 午後1時30分～3時30分
開催場所	北名古屋市国際交流協会事務局
出席者数	リーダー等6名
協議事項	①きっずタウン北なごや等実績 ②令和7年度多文化共生推進プログラムの詳細

II 国際交流事業

1 国際交流の場づくり

(1)多文化共生イベント

愛知県は毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、普及啓発活動を行っています。県及び他市町村とも連携し、北名古屋市において、多文化共生の形成による豊かで活力ある地域づくりを推進するため、多文化共生に関する基本理念の普及啓発活動を行いました。

日 時 令和6年11月16日(土) 午前10時30分～午後4時

場 所 名古屋芸術大学アトスクエア

実施内容 ① 多文化共生をテーマとする映画の上映とトークセッション
映画上映「フィリピンパブ嬢の社会学」
映画解説 同名書籍の著者 中島弘象氏のアフタートーク
② 多文化をテーマとするワークショップ 2講座
③ 愛知万博20周年記念事業PRキャラバン隊コーナー
④ 協会ボランティアブース

参加者 約250名

(2)国際交流子ども芸術教室

子どもの国際感覚の涵養を図るため名古屋芸術大学留学生等の協力のもと開講しました。

①美術教室

日 時 令和6年7月15日(月・祝)

場 所 名古屋芸術大学西キャンパス

実施内容 絵画制作、作品の紹介、ツリーハウス体験など

受講者 幼児・小学生35名

②音楽教室

日 時 令和6年11月30日(土)

場 所 名古屋芸術大学東キャンパス

実施内容 ハンドベルの講習、赤鼻のトナカイ、ふじの山の合奏 など

受講者 幼児・小学生20名

(3)他団体等のイベント等との連携

きつずタウン北なごやに出店

日 時 令和7年1月26日(日)

場 所 北名古屋市健康ドーム・アリーナ

実施内容 SDG s 啓発パネル展示、子ども向けSDG s 解説リーフレット配布
SDG s すごろくゲームを使ったワークショップ

参加者 小学生70名

2 国際交流の担い手となる人づくり

(1) 多文化理解の基礎となる外国語学習のための講座を開講しました。

①韓国語講座(初級)

開催日 5月～1月 第2・4月曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講師 ジョン・ジェオン氏(愛知大学講師)

受講者 27名

②韓国語講座(中級)

開催日 5月～1月 第2・4木曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講師 ジョン・ジェオン氏(愛知大学講師)

受講者 20名

③中国語講座

開催日 5月～1月 第1・3火曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講師 陳 敏氏(名古屋大学大学院)

受講者 10名

④英会話講座(初級)

開催日 5月～1月 第2・4金曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講師 ジェイソン・フォード氏(ハート英会話講師)

受講者 15名

⑤英会話講座(中級)

開催日 5月～1月 第2・4水曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講師 ジェイソン・フォード氏(ハート英会話講師)

受講者 21名

(2) ボランティア研修

協会登録ボランティアのスキルアップと情報交換の場として、研修会、会議などを開催しました。

①子ども日本語教室ボランティア会議 6月27日、12月16日

②社会人日本語教室ボランティア会議 4月5日、6月28日、10月4日、12月27日

③「外国人児童生徒のための日本語教室活動等スキルアップ研修in北名古屋」

愛知県国際交流協会と共催で開催 令和7年2月11日

受講者 30名(うち当協会17名)

④外部のボランティア養成講座等への参加 7講座 延べ10人

(3) ボランティア交流サロン

協会登録ボランティアの登録グループを超えた情報交換及び新規のボランティアの拡充のため、気軽に参加できるサロンを開催しました。

①第1回サロン

日時 令和6年6月8日(土)

場所 北名古屋市コミュニティセンター ホール

参加者数 32名(うち新規参加者13名)

②第2回サロン

日 時 令和6年10月19日(土)
場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール
参加者数 22名(うち新規参加者5名)

(3)草の根交流

北名古屋市の交流事業の状況等を確認

3 国際交流を活用した地域づくり

(1)多文化理解プログラム(シリーズ化)

市民を対象として、多文化共生の理解を深めるための講演、講座等を年間6回のシリーズとして拡充・開催し、効果的な広報に努めながら、受講者の拡大を図りました。

①講 座

日 時 令和6年6月1日(土)
場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール
演 題 「アイルランドの歴史と文化、音楽」
講 師 ライアン ギルブライド氏(愛知県国際課・国際交流員 アイルランド)
受講者数 41名

②体験教室 国際交流子ども芸術教室(美術) *再掲 1(2)参照

③講 座

日 時 令和6年11月2日(土)
場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール
演 題 「地球大気と天気のお話」
気象予報の世界は、世界の国々の気象観測のデータを国際協力のもと、互いに提供することで、気象予報が成り立ちます。簡単な気象現象の実験も含めて、気象予報の楽しい世界を紹介しました。
講 師 栗澤 徹氏(気象予報士 西穂高山荘支配人)
受講者数 43名

④イベント 多文化共生イベント *再掲 1(1)参照

⑤体験教室 国際交流子ども芸術教室(音楽) *再掲 1(2)参照

⑥ 体験教室

日 時 令和7年2月1日(土)

場 所 北名古屋市健康ドーム アリーナ

実施内容 「ウォーキングフットボールを楽しもう♪」

世界で最もスポーツ人口の多いサッカー、しかも子どもから高齢者まで楽しめる「歩くサッカー」を通して、外国人、日本人、子ども、大人の交流を図りました。

講 師 JWFL公認ウォーキングフットボールコーディネーター松本氏、大脇氏

受講者数 32名

体験教室（協会ボランティア自主企画）

協会日本語教室ボランティアの自主企画事業として、北名古屋市環境課の協力を得て、外国人がゴミの分別方法について学ぶ教室を開催しました。

日 時 令和6年7月21日(日)

場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール

テーマ 「ごみの分別と出し方を知ろう！」

講 師 協会ボランティア、北名古屋市環境課職員

参加者数 13名

4 国際交流を活用した広報拠点づくり

(1)協会会報の発行

協会の活動・催事・各種講座などの広報、会員・ボランティアの募集などのため会報を年に3回発行しました。（4月第48号 9月第49号 1月第50号）

(2)「北名古屋ファクトブック」（協会ホームページ）の活用

協会のホームページである「北名古屋ファクトブック」を活用し、協会の活動・催事・各種講座の案内、会員・ボランティアの募集などを行いました。

(3)フェイスブックの活用

SNSのフェイスブックを活用して、協会活動をタイムリーに提供しました。

(4)外国人生活情報サービス

外国人が文化、習慣、言語等の違いなどから抱えている問題をともに考え、問題解決に導くための相談対応に努めました。

相談件数 来訪4件、電話4件、メール2件

(5)外国人支援の整備

外国人が来訪する市役所でのコミュニケーションを円滑にするため、74言語通訳翻訳機器 ポケットークを配置し、支援しました。

◇ポケットーク配置場所 1か所

5 表彰関係

(1)令和6年度愛知県多文化共生推進功労者表彰（愛知県知事表彰）

愛知県知事から、地域の多文化共生の進展に大きく寄与した功績により、多文化共生推進功労者として、当協会が顕彰されました。

日 時 令和6年11月4日(月・振替休日)

場 所 「多文化共生フォーラムあいち2024会場」
シビックホール（尾張一宮駅前ビル7階）

(2)国際交流感謝状（公益財団法人愛知県国際交流協会会長感謝状）

（公財）愛知県国際交流協会会長から、同協会設立40周年にあたり、国際交流に尽力している団体として当協会に授与されました。

日 時 令和6年11月13日(水)

場 所 「公益財団法人愛知県国際交流協会設立40周年式典会場」
愛知芸術文化センター アートスペースA

III 日本語教育事業

1 子ども日本語教室

①対象 外国人の子女で市公立小中学校に在籍する児童・生徒

②形式 マンツーマン方式

③実施 週1回 受講生21名 延べ305回

④場所 小学校 9校 中学校なし

⑤指導 市民ボランティア

国籍別受講者数 21名	
中国6	トルコ3
ブラジル3	ベトナム3
フィリピン2	ミャンマー1
メキシコ1	韓国1 ネパール1

2 多文化子育てサロン事業

外国籍市民及びその未就園児と市民親子などを対象に、優しい日本語の理解促進と子育て世代の交流を図るため、サロンを設置しました。

①対象 外国籍市民及びその未就園児と市民親子

②場所等 宇福寺児童館 50回 参加者794名
六ツ師児童館 48回 参加者680名

③指導 講師及び市民ボランティア

④委託先 NPO法人 次世代健全育成サポートあひるっこ

3 社会人日本語教室

①対象 外国人

②形式 マンツーマン方式及びグループ方式

③実施 週1回 受講者32名 延べ40回

④場所 北名古屋コミュニティセンター

⑤指導 市民ボランティア

国籍別受講者数 32名	
ベトナム10	フィリピン9
中国3	インドネシア7
タイ2	ネパール1

令和6年度 国際交流事業収支決算

収入の部 (単位:円)

項 目		予算額 (A)	流用額 (B)	予算現額 (C)	決算額 (D)	差異 (C) - (D)	説 明
1負担金		680,000	0	680,000	834,000	-154,000	
	1会費	600,000	0	600,000	834,000	-234,000	個人162口(前年比+20口) 法人102口(前年比+50口)
	2交流会会費	80,000	0	80,000	0	80,000	交流会開催実績0
2補助金・助成金		8,100,000	0	8,100,000	8,090,000	10,000	
	1市補助金	8,000,000	0	8,000,000	8,000,000	0	
	2公益法人 助成金	100,000		100,000	90,000	10,000	公益財団法人 愛知県国際交流協会補助金
3諸収入		1,631,000	0	1,631,000	1,556,223	74,777	
	1利子	1,000	0	1,000	393	607	
	2受講料等	1,580,000	0	1,580,000	1,490,750	89,250	韓国語47名、中国語10名、 英会話36名
	3雑入	50,000	0	50,000	65,080	-15,080	
4繰越金		1,400,000	0	1,400,000	1,403,508	-3,508	
	1繰越金	1,400,000	0	1,400,000	1,403,508	-3,508	
計		11,811,000	0	11,811,000	11,883,731	-72,731	

支出の部

(単位:円)

項 目		予算額 (A)	流用額 (B)	予算現額 (C)	決算額 (D)	差異 (C) - (D)	説 明
1 事務費		8,681,000	479,687	9,160,687	9,079,927	80,760	
	1 報償費	132,000	-36,000	96,000	93,000	3,000	理事会・監査報酬
	2 職員手当等	300,000	-62,556	237,444	233,499	3,945	職員2名 通勤手当・時間外手当
	3 職員法定 福利費	642,000	47,907	689,907	689,907	0	健康保険料・厚生年金保険料・ 雇用保険料等
	4 賃金	4,470,000	529,687	4,999,687	4,999,687	0	職員2名
	5 旅費	20,000	-20,000	0	0	0	
	6 交際費	10,000	-10,000	0	0	0	
	7 需用費	150,000	62,000	212,000	211,136	864	消耗品費、食糧費、 印刷製本費
	8 役務費	100,000	34,649	134,649	134,649	0	郵送料、手数料、保険料
	9 使用料及び 賃借料	10,000	-6,000	4,000	800	3,200	
	10 備品購入 費	60,000	-60,000	0	0	0	
	11 負担金補助 及び交付金	12,000	0	12,000	12,000	0	商工会会費
	12 会議費	0	0	0	0	0	
	13 繰出金	2,775,000	0	2,775,000	2,705,249	69,751	地域日本語教育推進事業 会計へ繰り出し
2 事業費		3,090,000	-479,687	2,610,313	2,596,496	13,817	
	1 報償費	1,100,000	-120,536	979,464	977,464	2,000	語学講座講師料、講演会講師料等
	2 旅費	20,000	0	20,000	17,660	2,340	
	3 需用費	570,000	-203,141	366,859	363,862	2,997	消耗品費、食糧費、 印刷製本費等
	4 委託料	1,100,000	0	1,100,000	1,093,520	6,480	英会話講座委託、ホームページ 等保守管理業務委託
	5 使用料及び 賃借料	270,000	-126,010	143,990	143,990	0	
	6 負担金補助 及び交付金	30,000	-30,000	0	0	0	
3 予備費		40,000	0	40,000	0	40,000	
	1 予備費	40,000	0	40,000	0	40,000	
合 計		11,811,000	0	11,811,000	11,676,423	134,577	

※収入決算額計11,883,731円と支出決算額計11,676,423円の差引額207,308円が、次年度繰越額。

令和6年度日本語教育事業収支決算

収入の部

項 目		予算額 (A)	流用額 (B)	予算現額 (C)	決算額 (D)	差異 (C) - (D)	説 明
1 補助金 及び交付金		2,430,000	0	2,430,000	2,453,000	-23,000	
	1 県補助金	2,430,000	0	2,430,000	2,453,000	-23,000	愛知県地域日本語 教育推進補助金
2 諸収入		266,000	0	266,000	214,829	51,171	
	1 利子	1,000	0	1,000	273	727	
	2 受講料等	260,000	0	260,000	197,000	63,000	子ども教室21名 社会人教室32名
	3 雑入	5,000	0	5,000	17,556	-12,556	
3 繰入金		2,775,000	0	2,775,000	2,705,249	69,751	
	1 繰入金	2,775,000	0	2,775,000	2,705,249	69,751	一般会計から繰入
合 計		5,471,000		5,471,000	5,373,078	97,922	

支出の部

(単位:円)

項 目		予算額 (A)	流用額 (B)	予算現額 (C)	決算額 (D)	差異 (C) - (D)	説 明
1 事業費		5,471,000	0	5,471,000	5,373,078	97,922	
	1 報償費	1,088,000	-122,200	965,800	965,800	0	日本語教室ボランティア費 用弁償
	2 職員手当等	250,000	-60,375	189,625	166,078	23,547	職員1名 時間外手当
	3 職員法定福利費	440,000	70,406	510,406	510,406	0	健康保険料・厚生年金保険 料・雇用保険料等
	4 賃金	2,440,000	328,575	2,768,575	2,768,575	0	職員1名
	5 旅費	10,000	12,740	22,740	22,740	0	
	6 需用費	310,000	-225,746	84,254	46,700	37,554	消耗品、印刷製本費
	7 役務費	123,000	0	123,000	91,979	31,021	郵送料、手数料、保険料
	8 委託料	810,000	-3,400	806,600	800,800	5,800	多文化子育てサロン委託 インターネット環境整備委託
計		5,471,000	0	5,471,000	5,373,078	97,922	

* 収入決算額計5,373,078円と歳出決算額計5,373,078円は同額

監査報告書

北名古屋市国際交流協会規約第8条第4項に基づき、
令和7年4月4日に、令和6年度収支決算書び関係証拠書類の監査を
行った結果、いずれも正確かつ適正であると認めたことをご報告いた
します。

令和7年4月4日

北名古屋市国際交流協会

会長 横手政孝 様

北名古屋市国際交流協会

監事

松田 弘一

監事

下口 泰史

令和7年度事業計画

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

I 事業方針

協会は地域の国際化及び多文化共生の社会づくりを進めるため、国際交流・多文化共生の「場づくり」、「人づくり」、「地域づくり」に加え、協会活動を支える広報体制の整備などに、市民ボランティアを中心とする市民参加型の事業展開を目指します。

また、多文化共生社会の実現をめざすため、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図るなど地域における日本語教育環境の整備に努めます。

II 事業計画 「国際交流・多文化共生事業」

1 国際交流・多文化共生の場づくり

(1)多文化共生推進イベント

愛知県は毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、普及啓発活動を行っています。県及び他市町村とも連携し、北名古屋市において、多文化共生の形成による豊かで活力ある地域づくりを推進するため、多文化共生に関する基本理念の普及啓発活動に努めます。

実施時期 令和7年11月16日(日)

場 所 名古屋芸術大学アーツスクエア

実施内容 多文化共生をテーマとするシンポジウム、関連ワークショップ等

登壇者 Vitor (ヴィトル) 氏 NHK「まるっと」多文化共生レポーター

登壇者 中島弘象氏 「フィリピンバブ嬢の社会学」、「〃経済学」著者

*尾張中央ロータリークラブと協働して実施予定

(2)国際交流子ども芸術教室

芸術活動を通して、子どもの国際感覚の涵養を図るため、名古屋芸術大学留学生等の協力のもと、夏、秋頃の年2回開講します。

(3)他団体等のイベント等との連携

他団体等が主催するイベントと連携し、協会活動のPR、SDGsや多文化共生の普及啓発活動を行います。

2 国際交流・多文化共生の担い手となる人づくり

(1)多文化理解の基礎となる外国語学習のための講座を開講します。

①韓国語講座(初級)

開催日 5月～1月 第2・4月曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講 師 ジョン・ホンギ氏(愛知大学講師)

②韓国語講座(中級)

開催日 5月～1月 第2・4木曜日 年18回(健康ドーム研修室)

講 師 ジョン・ホンギ氏(愛知大学講師)

③中国語講座

開催日 5月～1月 第1・3火曜日 年18回（健康ドーム研修室）

講師 陳 敏氏（名古屋大学大学院）

④英会話講座(初級)

開催日 5月～1月 第2・4金曜日 年18回（健康ドーム研修室）

講師 ジェイソン・フォード氏（ハート英会話講師）

⑤英会話講座(中級)

開催日 5月～1月 第2・4水曜日 年18回（健康ドーム研修室）

講師 ジェイソン・フォード氏（ハート英会話講師）

(2)ボランティア研修

協会登録ボランティアのスキルアップと情報交換の場として、研修会、会議などを開催します。

①子ども日本語教室ボランティア会議 学校の3学期制に合わせて年3回程度

②社会人日本語教室ボランティア会議 3か月毎に年4回程度

③外部のボランティア養成講座等への参加 など

(3)草の根交流

北名古屋市の交流事業等と連携し、派遣・受け入れ等の機運を注視し、対応します。

3 国際交流・多文化共生を活用した地域づくり

(1)多文化共生推進プログラム（9回シリーズ）

市民を対象として、多文化共生の理解を深めるためのイベント、講座、体験教室等を年間9回程度に拡充して、効果的な広報に努めながら受講者の拡大も図ります。

① 講座

実施時期 令和7年5月頃

場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール

演 題 (仮)「愛知県の多文化共生推進施策」
「あいち多文化共生推進プラン」の紹介、ワークショップなど

講 師 愛知県県民生活部多文化共生室長

② 講座

実施時期 令和7年6月頃

場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール

演 題 (仮)「国際芸術祭あいち2025」
20か国を超えるアーティストの参加する芸術祭の見どころなど

講 師 愛知県県民生活部国際芸術祭担当課長

- ③ 体験教室
 実施時期 令和7年7月頃
 場 所 名古屋芸術大学西キャンパス
 内 容 子ども芸術教室（美術）＊再掲1(2)
 講 師 名古屋芸術大学教職員、留学生
- ④ 講 座
 実施時期 令和7年8月頃
 場 所 北名古屋市コミュニティセンター ホール
 演 題 (仮)「ガンビア共和国の文化と日本文化」
 ガンビアの食、生活、慣習などの紹介と日本との違いなど
 講 師 ビントゥー・クジャビ・ジャロウ氏
 在名古屋ガンビア共和国名誉総領事 （北名古屋市在住）
- ⑤ 体験教室
 実施時期 令和7年9月頃
 場 所 名古屋芸術大学アーツスクエア
 内 容 外国人の生活に役立つワークショップ
 (仮)「ごみの分別方法」、「交通安全」
 講 師 北名古屋市行政職員、協会ボランティア
- ⑥ イベント 多文化共生推進イベント ＊再掲1(1)
 実施時期 令和7年11月16日(日)
 場 所 名古屋芸術大学アーツスクエア
 内 容 多文化共生をテーマとするシンポジウム、関連ワークショップ等
- ⑦ 体験教室
 実施時期 令和7年12月頃
 場 所 名古屋芸術大学東キャンパス
 内 容 子ども芸術教室（音楽）＊再掲1(2)
 講 師 名古屋芸術大学教職員、留学生
- ⑧ 体験教室
 実施時期 令和8年1月頃
 場 所 名古屋芸術大学アーツスクエア
 内 容 外国人の生活に役立つワークショップ
 (仮)「ごみの分別方法」、「防災対策」
 講 師 北名古屋市行政職員、協会ボランティア

⑨ 体験教室

実施時期 令和8年2月頃

場 所 北名古屋健康ドーム

内 容 ウォーキングフットボール（歩くサッカー）

子どもから高齢者まで楽しめる「歩くサッカー」を一緒にプレーしながら、外国人、日本人、子ども、大人の交流を図ります。

講 師 JWFL公認ウォーキングフットボールコーディネーター

4 国際交流を活用した広報拠点づくり

(1)協会会報の発行

協会の活動・催事・各種講座などの広報、会員・ボランティアの募集などのため会報を年に3回発行します。（4月第51号 7月第52号 11月第53号）

(2)「北名古屋ファクトブック」（協会ホームページ）の活用

協会のホームページである「北名古屋ファクトブック」を活用し、協会の活動・催事・各種講座の案内、会員・ボランティアの募集などを行います。

(3)フェイスブックの活用

SNSのフェイスブックを活用して、協会活動をタイムリーに提供するよう努めます。

(4)外国人生活情報サービス

外国人が文化、習慣、言語等の違いなどから抱えている問題をともに考え、問題解決に導くための相談対応に努めます。

また、外国人の生活に役立つワークショップを年2回程度開催します。再掲 3(1)⑤、⑧

(5)外国人支援の整備

外国人が来訪する市役所でのコミュニケーションを円滑にするため、言語通訳翻訳機器ポケットにより、支援していきます。

◇ポケット配置数 1

Ⅲ 事業計画 「日本語教育事業」

多文化共生社会の実現をめざし、外国人への日本語教育環境を整備する。
そのため、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を目的に、子ども向けと社会人向けの日本語教室を開講します。

1 子ども日本語教室

- ①対象 外国人の子女で市公立小中学校に在籍する児童・生徒
- ②形式 マンツーマン方式
- ③実施 週1回
- ④場所 小学校及び中学校
- ⑤指導 協会ボランティア

2 社会人日本語教室

- ①対象 外国人
- ②形式 マンツーマン方式及びグループ方式
- ③実施 週1回
- ④場所 北名古屋市コミュニティセンター
- ⑤指導 協会ボランティア

令和7年度事業計画表

	R7.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3	備考
事業区分													
I 国際交流・多文化共生事業													
1 場づくり													
多文化共生推進イベント								◆					11月
子ども芸術教室				◆					◆				7月.11月
他団体との連携											◆		2月
2 人づくり													
韓国語(初級)		—	—	—	—	—	—	—	—	—			第2.4月18回
韓国語(中級)		—	—	—	—	—	—	—	—	—			第2.4木18回
中国語		—	—	—	—	—	—	—	—	—			第1.3火18回
英会話(初級)		—	—	—	—	—	—	—	—	—			第2.4金18回
英会話(中級)		—	—	—	—	—	—	—	—	—			第2.4水18回
子ども日本語教室会議	◎					◎				◎			年3回
社会人日本語教室会議	◎			◎			◎			◎			年4回
外部研修への参加					◎			◎					年2回程度
草の根交流	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	状況に応じて
3 地域づくり													
多文化共生推進プログラム		◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆		年9回 (再掲含む)
4 広報拠点づくり													
会報発行	□			□				□					年3回
ファクトブックの活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	通年
フェイスブックの活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	通年
外国人情報サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	通年
外国人支援体制の整備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	通年
II 日本語教育事業													
子ども日本語教室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	週1回
社会人日本語教室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	週1回
総会	◎												4月
理事会	◎						◎					◎	4月.10月.3月
監査	◎						◎						4月.10月
	R7.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3	

第2号議案の2

令和7年度国際交流・多文化共生事業収支予算

収入の部

(単位:円)

項 目		7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	比較(A)-(B)	説 明
1 負担金		980,000	680,000	300,000	
	1 会費	970,000	600,000	370,000	個人 @2,000円×160口 320,000 法人 @5,000円×130口 650,000
	2 交流会会費	10,000	80,000	-70,000	交流会参加者負担金
2 補助金・助成金		8,150,000	8,100,000	50,000	
	1 市補助金	8,000,000	8,000,000	0	運営費補助金 人件費3名、事務費及び事業費の一部
	2 公益法人等助成金	150,000	100,000	50,000	事業費補助金
3 寄附金		1,000	0	1,000	
	1 寄附金	1,000	0	1,000	
4 諸収入		1,631,000	1,631,000	0	
	1 利子	1,000	1,000	0	
	2 受講料等	1,580,000	1,580,000	0	受講料会員 15,000円 非会員 18,000円
	3 雑入	50,000	50,000	0	
5 繰越金		207,000	1,400,000	-1,193,000	
	1 繰越金	207,000	1,400,000	-1,193,000	
計		10,969,000	11,811,000	-842,000	

支出の部

(単位:円)

項 目		7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	比較(A)-(B)	説 明
1 事務費		8,311,000	8,681,000	-370,000	
	1 報償費	120,000	132,000	-12,000	理事会・監査報酬
	2 職員手当等	100,000	300,000	-200,000	職員2名 通勤手当、時間外手当
	3 職員法定 福利費	620,000	642,000	-22,000	健康保険料・厚生年金保険料、雇用 保険料等
	4 賃金	4,540,000	4,470,000	70,000	職員2名
	5 旅費	10,000	20,000	-10,000	
	6 交際費	1,000	10,000	-9,000	科目設定
	7 需用費	100,000	150,000	-50,000	消耗品費、食糧費 印刷製本費
	8 役務費	80,000	100,000	-20,000	郵送費、手数料、保険料
	9 使用料及び 賃借料	1,000	10,000	-9,000	科目設定
	10 備品購入費	1,000	60,000	-59,000	科目設定
	11 負担金補助 及び交付金	12,000	12,000	0	商工会会費
	12 繰出金	2,726,000	2,775,000	-49,000	日本語教育事業会計へ繰出し
2 事業費		2,618,000	3,090,000	-472,000	
	1 報償費	1,130,000	1,100,000	30,000	韓国語、中国語講師謝金 多文化共生推進プログラム講師謝金等
	2 旅費	10,000	20,000	-10,000	
	3 需用費	369,000	570,000	-201,000	消耗品費、食糧費 印刷製本費等
	4 委託料	950,000	1,100,000	-150,000	英会話講座委託 ホームページ等保守管理業務委託等
	5 使用料及び 賃借料	158,000	270,000	-112,000	プリンターリース料
	6 負担金補助 及び交付金	1,000	30,000	-29,000	科目設定
3 予備費		40,000	40,000	0	
	1 予備費	40,000	40,000	0	
計		10,969,000	11,811,000	-842,000	

* 支出予算の各項目予算額に過不足が生じた場合は、相互に流用できるものとする。

令和7年度日本語教育事業収支予算

収入の部

(単位:円)

項 目		7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	比較(A)-(B)	説 明
1補助金 及び交付金		1,976,000	2,430,000	-454,000	
	1県補助金	1,976,000	2,430,000	-454,000	愛知県地域日本語 教育推進補助金
2諸収入		278,000	266,000	12,000	
	1利子	1,000	1,000	0	利子
	2受講料等	260,000	260,000	0	子ども教室 20名 社会人教室 20名
	3雑入	17,000	5,000	12,000	
3繰入金		2,726,000	2,775,000	-49,000	
	1繰入金	2,726,000	2,775,000	-49,000	一般会計から繰入
計		4,980,000	5,471,000	-491,000	

支出の部

(単位:円)

項 目		7年度予算額 (A)	6年度予算額 (B)	比較(A)-(B)	説 明
1事業費					
	1報償費	1,000,000	1,088,000	-88,000	子どもボランティア20名 社会人ボランティア15名
	2職員手当等	50,000	250,000	-200,000	職員1名 時間外手当
	3職員法定 福利費	510,000	440,000	70,000	健康保険料・厚生年金保険料、雇 用保険料等
	4賃金	3,060,000	2,440,000	620,000	職員1名
	5旅費	20,000	10,000	10,000	
	6需用費	48,000	310,000	-262,000	消耗品費、印刷製本費
	7役務費	80,000	123,000	-43,000	郵送料、手数料、保険料
	8委託料	212,000	810,000	-598,000	インターネット環境整備委託
計		4,980,000	5,471,000	-491,000	

* 支出予算の各項目予算額に過不足が生じた場合は、相互に流用できるものとする。